

第6回 U4 JUNIOR CUP 大会開催要項

- 1 主旨 公式試合の少ない4年生以下の低学年を対象に、日頃の練習の成果を発揮する機会を設ける。
広く地域の枠をこえての参加チームが相互の交流を深め、活動の輪をひろげる。
- 2 参加資格 小学4年以下の学童の野球チームで、かつ本要項の内容に全て同意したチームであること。なお参加者はスポーツ傷害保険、もしくはそれに準ずる傷害保険への加入手続きの完了したものとす
る。
- 3 参加チーム 以下の16チーム。
鴻巣市 アスナロジャイアンツ、下忍袋イーグルス
宮本、生出塚
上尾市 浅間台パワーズ、光ジャガーズ
北本市 リトルジャイアンツ、北本アトラス
東松山市 新宿野球、新明野球、市の川小野球
羽生市 須影少年野球
桶川市 桶川ヤンキース
熊谷市 熊谷ウィングス
久喜市 久喜少年野球
行田市 泉小少年野球
- 4 大会形式 4チーム、4ブロックによる予選、順位決定トーナメントを
2日間で行う。参加チームは全て4ゲームを戦う
- 5 日程 以下の通り行うものとします。
第1日・・・9月2日(日)
会場・・・吹上荒川総合運動公園多目的A・ソフト
A・B・C
第2日・・・9月8日(土)
会場・・・鴻巣川里中央公園多目的A・B、川里野
球場、吹上荒川総合運動公園多目的A・
B
予備日・・・9月17日(月)
会場・・・吹上荒川総合運動公園

6 日程の詳細

第1日目 受付8：00（吹上荒川総合運動公園多目的A）
開会式8：15（吹上荒川総合運動公園多目的A）
第2日目 閉会式 16：00頃（川里中央公園多目的A）
試合スケジュールは別紙組み合わせ表によります。

7 参加費用 1チーム1500円 第1日目受付時にご持参ください。

8 表彰 優勝、準優勝チームに賞状とカップ
3・4位、2・3・4位ブロックの1位に敢闘賞

9 競技・審判運用 別項の大会運営規定による。

10 免責事項 本大会の実施に際し、主催者は大会運営に関する傷害・損害保険には加入しておりません。従って、大会期間中において参加する選手、指導者、その関係者が被った傷害・損害、同じく会場までの移動中に発生した事故等によって被った傷害・損害、及び会場として使用した施設の与えた損害等に対する保障については、主催者はその責任の一切を負わないものとする。

11 緊急連絡先 別項の大会連絡先一覧を参照のこと

12 その他

駐車場の使用について・・・各会場とも路上駐車は厳禁です。また吹上会場の隣接するパークゴルフ場の駐車場は駐車禁止です。
駐車する際は各チームごと縦列駐車をすること、その上、全ての車には所属チームが判別できるよう表示をお願いいたします。また、主催者側からの指示があった場合はそれに従っていただく様に願います。
尚、1日目ソフトB・Cを使用のチームがその隣接する駐車場を使用する際はスペースが広く無い為、車の台数は1チーム最大で3台までとしてください。
以上各チームにて徹底願います。

雨天の場合・・・当日朝の天候等による中止の場合は6時頃各チームに主催者より連絡いたします。

1 3 大会連絡先一覧

事務局 須藤 義明 (宮本) TEL 090-9951-5196

中條 聡 (アスナロジャイアンツ)

TEL 090-8647-9308

熊谷 一明 (下忍袋イーグルス)

TEL 090-6792-8743

神津 敬二 (生出塚) TEL 070-5693-5276

第6回 U4 JUNIOR CUP 大会運営規定

- 1 本大会は以下に記載の無い事項については、2012年版公認野球規則に則り行うものとする。また使用グラウンドによっては別にグラウンドルールを設けることとし、試合開始前に試合開始前に審判より説明することとする。
- 2 試合時間は70分もしくは7回戦として、それを越えて新しいイニングに入らない。
- 3 攻守交代はスリーアウトが成立の時点または7得点した時点とする。また本大会は得点差によるコールドゲームは設けない。
- 4 時間内に勝敗が決しない場合は延長戦は行わず、最終回のメンバー9人同士のジャンケンにて勝敗を決定する。
- 5 ただし、決勝戦のみ、1回の特別延長戦（サドンデス）を行う。サドンデスは1アウト満塁から行い、前回の最終打者を1塁走者とし、2，3塁走者は順次前の打者とする。打者は継続打者とする。この際の攻守の交代は3アウトもしくは9人目の打者の打席が完了した時点とする。尚、決しない場合はジャンケンによって勝敗を決する。
- 6 グラウンドは塁間を23mとし、投手板と本塁間は15mとする。また、外野にはホームランラインをもうける。ホームランラインは投手板から50mとして、直接超えれば本塁打、そのほかはツーベースとします。
- 7 投手については、その投球練習は試合開始時及び投手交代時は7球、継続回は3球とする。投球回数に制限は設けませんが、投球過多にならないよう注意願います。また、ボークについては審判よりの指摘と指導の範囲とします。
- 8 試合球は試合を行うチームが2個ずつ持ち寄り、終了時に持ち帰る。
- 9 試合前のシートノックは原則おこなわない。

- 1 0 捕手は出場、控えを問わず必ず全ての防具を着用すること。なお、予備キャッチャーがない場合は指導者が臨時に投球練習の相手をすることは認めます。
- 1 1 ベンチに入るメンバーと監督は統一されたユニフォームを着用のこと。メンバー表交換（試合開始予定の 30 分前）の時はメンバー表 3 通（相手チーム・審判・記録用）を提出し、同時に監督の背番号も明示してください。
- 1 2 審判は各チームより 2 名ずつ出してください。大会 2 日間を通して 4 試合の担当を願います。担当する試合については別紙の組み合わせ表を参照のこと。
- 1 3 試合中の抗議権は監督のみに有することとします。その行使はルールの解釈に疑義が生じた場合の確認のみとします。
事態が紛糾した場合は四審の協議により判定を下し、それでも判断がつかない場合は主審が判定を行い、それをもって最終判定とする。それに対する異議は唱えられないものとする。
- 1 4 天候の悪化等による試合の続行の可否は大会事務局と参加チームの協議の上判断するものとする。但し落雷の発生、もしくはその恐れのある場合は試合を即時中断して避難行動をとってください。
中止となった試合はノーゲームとして再試合を行います。
- 1 5 審判、特に主審は審判服、審判帽の着用が望ましいが、用意できない場合はこだわらない。ただし、ユニフォームの上着の着用のまま、ハーフパンツ姿等での審判は慎んでください。
- 1 6 会場準備は各チーム 2 名ずつ。第 1 日目は開会式の後、2 日目は試合開始 1 時間前に使用グラウンドに集合願います。
- 1 7 試合間のグラウンド整備は直前に試合の終わった 2 チームにて行って次の試合に引き継いでください。
- 1 8 試合に際しては、当該チームより 1 名ずつ記録係をだしてください。記録係とタイムキーパーを担当します。